



教育目標 新しい時代を担う豊かな心と知性を身につけた実践力のある生徒の育成

知性：自ら学び考える生徒 **友愛**：心豊かな生徒 **健康**：健康で実践力のある生徒

「福島議定書」の取組 最優秀賞！

先日、新聞各紙に掲載されましたが、今年度の「福島議定書」で本校が最優秀賞を受賞することになりました。

この取組は、SDGs教育を推進するために、これまで本校で取り組んできている生徒会専門部でのリサイクル活動や募金運動などの様々な取組を、福島県の「令和3年度温暖化防止にみんなで取り組む『福島議定書』事業」の取組に参加することで、地球温暖化防止や環境問題への意識を高めることにつながるのではないかと考え、今年度初めて「福島議定書」の取組に参加してみました。

はじめに、二酸化炭素排出量の削減目標を定め、福島県知事と「福島議定書」を締結するため、生徒代表である生徒会長の佐藤万優花さんと教職員代表の校長と一緒に調印をして、この取組がスタートしました。

本校では以前からリサイクルボックスによるごみの分別や古紙回収、アルミ缶回収、エコキャップ（ペットボトルキャップ）の回収などの取組を継続して行ってきました。また、赤い羽根共同募金やユネスコ寺子屋募金などの募金活動も活発に行っています。

さらに、今年度は生徒会執行部が、全校生徒に節電や節水の呼びかけを行ったり、下校時のゴミ拾いボランティア活動を企画したりしました。それらの本校の取組が評価されたのではないかと思います。今回の「福島議定書」の取組に積極的に取り組んでくれた生徒や教職員、そしてご協力いただいたご家庭や地域の皆様に感謝申し上げます。

現在、国際連合は2030年までに、国際協力・国際貢献や教育問題、貧困問題などに関して17の持続可能な開発目標（SDGs「Sustainable Development Goals」）を掲げて、全世界で目標を達成するための取組を行っていますが、本校では、今後もSDGs教育について取り組んでまいりたいと思います。



生徒会長と一緒に調印



下校時のゴミ拾いボランティア

「オミクロン株」による感染急増が止まりません

現在、新型コロナウイルス感染症が「オミクロン株」による感染拡大が止まりません。1月下旬から県内には「非常事態宣言」や「まん延防止重点措置」が適用されていますが、県内はもとより市内でも連日多くの陽性者が確認されています。

このような厳しい状況の中、校内での感染を防ぐためにも、次の点のご協力をお願いします。

- 家庭内での感染防止対策を徹底する。
- 毎朝の検温・健康観察を行い「リーバー」に入力する。
- 生徒本人及び同居家族等に発熱や風邪症状等がある場合には登校せず、医療機関を受診し休養する。
- 生徒本人及び同居家族等がPCR検査や抗原検査等を受ける場合は速やかに学校に連絡する。
- 同居家族等で陽性者や濃厚接触者になった場合は、速やかに学校に連絡する。

今までも、何件か同居家族がPCR検査を受けていたり、風邪症状等があった場合でも登校していたりしたケースがありましたので、必ず守っていただきますよう切に願います。

なお、先日から濃厚接触者の特定は、感染者本人から連絡が入り職場や学校等が行うことになりました。その基準は、先に文書でお知らせしたとおり県の指針に従って判断させていただきますが、上記のお願いが大変重要なポイントになりますので、よろしく願いいたします。

須賀川市新型コロナウイルス感染症対策本部
「みんなで乗り越えよう コロナに負けるな、すかたろ!」

須賀川市新型コロナウイルス感染症対策
福島県非常事態宣言発令
まん延防止等重点措置
1月30日～2月20日

STOP! 感染拡大
— COVID-19 —

不要不急の外出自費 混雑した場所・感染リスクの高い場所への外出は控える	食事以外はマスクを 食事以外は、できるだけマスクを着用	感染予防対策の徹底 こまめな消毒や換気、三密の回避を徹底
--	--------------------------------	---------------------------------

ユネスコ寺子屋募金

1月31日(月)、生徒会JRC専門部長の石川陽菜さんが須賀川ユネスコ協会を訪問して、全校生徒から協力いただいた募金や書き損じハガキを届けてきました。

JRC専門部では、登校時の昇降口や昼の放送で呼びかけを行うなどして募金活動に取り組みました。その結果、募金額が9,207円と書き損じハガキが152枚集まりました。ご協力ありがとうございました。

ユネスコ世界寺子屋募金運動は、学校にいけない子どもたちや文字の読み書きができない大人の人たちが「学びの場＝寺子屋」で読み書きや算数を学べるように、教育の機会を提供する運動です。

一中生の善意が、戦争や貧困などの理由で教育の機会に恵まれない人たちの学びの場＝寺子屋での学びに役立つことになりました。

今回の募金活動を通して、SDGsについても考えることが出来ました。



ユネスコ協会へ募金を届ける

県立高校前期選抜出願状況確定

令和4年度福島県立高等学校の前期選抜の出願が2月8日(火)の正午で締め切られ、その後出願先変更が2月14日まで行われていましたが、昨日最終的な出願状況が確定しました。本校から出願した高校の最終倍率は下表のとおりです。

3月3日(木)から前期選抜が行われます。倍率などの数字にとらわれずに、自信をもって平常心で入試に臨んでほしいと思います。

主な県立高校の前期選抜出願状況(最終)

「夢は見るもの 叶うもの 人の三倍 励むもの」といつも言っているように、これまで目標に向かって受験勉強に、面接練習にがんばってきたと思います。自分を信じてベストを尽くしてほしいと思います。

ご家族の方や一中の教職員、そして在校生みんなで応援しています。



高校名	学科	特色	志願	高校名	学科	特色	志願
安積	普通	1.21	1.23	岩瀬農業	ヒューマン	0.75	1.13
安積黎明	普通	1.00	1.33		生物生産	1.63	1.03
郡山東	普通	1.25	1.38		園芸科学	0.25	0.68
郡山	普通	1.50	1.32		環境工学	0.38	0.70
創英館	普通	0.90	0.79		食品科学	0.38	0.78
須賀川	普通	0.70	0.99		ガレッジ	0.25	0.98
桐陽	数理	0.69	0.58	清陵情報	電子機械	0.50	0.80
光南	総合	1.45	1.04		情報処理	0.63	0.86
					情報会計	0.38	0.63

あの地震から1年が経ちましたが

2月13日(日)の1年前、マグニチュード7.3の福島県沖地震が発生し、本校は大きな被害を受けました。特に体育館は大きなダメージを受けました。大きなブロック片がフロアに散乱し、あの大きな屋根を支えていた鉄筋の大きな梁も曲がってしまい、体育館での活動ができなくなってしまいました。その後専門家の調査では、大規模改修よりも建て替えた方が良いとの判断となり、現在、体育館の解体工事が行われています。

本校にとっては、現在のコロナ禍や体育館が使えないという二重の厳しい状況にありますが、多くの方々にご支援をいただきながら生徒・教職員が一丸となって、この困難を乗り越えようとしています。

東日本大震災から来月で11年目を迎えます。1年前の福島県沖地震と合わせたこの時期、本校では、さまざまな機会をとらえては防災に対する意識を高め、自然災害に対応できる力を身につけられるよう防災教育に力を入れていきたいと思っています。

体育館は、今年度中に解体工事が終わり、4月からは新体育館の建設工事が始まります。新しい体育館に夢と希望をのせて、前に進んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いたします。



被災直後の体育館



体育館解体工事の様子(2/14)

福島県沖地震から1年が経ちました。1年前東日本大震災から10年の節目を迎えようとしていて、防災についてどう子どもたちに伝えようと考えていた時期に、「まさか」という想いでした。この1年間、コロナ禍ということもあり、あっという間に時間が過ぎてしまい、1年前の記憶も忘れがちになります。しかし、「災害は忘れた頃にやってくる」とよく言われますが、先月遠くトンガの海底火山の噴火による津波が日本に押し寄せてきました。日本は災害大国とも言われています。地震、火山噴火、大雨による洪水など多くの災害に対して、万が一の時にどう行動すればよいのか常に考えておく必要があります。「自分の命は自分で守る」「公助・共助」などのキーワードを子どもたちに伝えていきたいと思いますが、ご家庭でも、ぜひお子さんとお話をお願いします。